

## エコミュージウム構想に理解を 住民説明会とワークショップ開く

洞爺湖周辺地域エコミュージウム推進協議会が主催する「洞爺湖町エコミュージウム住民説明会とワークショップ」が、1月30日役場防災研修ホールで開かれ、約30人の住民が参加して、今後の活動にむけて様々な意見を出し合いました。

同説明会は、洞爺湖や噴火湾沿岸などの地域の自然を博物館として捉え、それを観光や防災学習につなげていく「エコミュージウム構想」について、これまでの進捗状況と今後の活動のあり方を考えていく手始めとして開催。

最初に環境防災総合政策研究機構の本田康隆上席研究員が、エコミュージウム構想について概要を説明。続いて太田秀伸氏（ワカサリゾート 営業部長）が、現在同社で行っている活動を説明し、「窓口を一つにし、細かいプログラムをわかりやすく設定」するなどの観光と結びつけた同構想の今後の進め方を提言しました。

この後のワークショップでは、自己紹介しながら一人ひとり意見を出し合い、「住民に余り関心をもたれていない」「モニターツアーを企画し、住民にま

知ってもらう必要がある」などの広報活動の不足を指摘する意見や「ジオパーク登録は必要」「地元の人が知りえない情報がある」「ストーリーを考えておすすめポイントをつくる」などエコミュージウム構想の具体化についての意見も多く出されました。



熱心な議論が続いたワークショップ

## 三豊市との 友好都市記 念品交換式

長崎町長、篠原町議会議長ら4人が、2月18日昨年7月に友好都市協定を結んだ三豊市を訪問し、友好都市記念品交換式に臨みました。

式典では、横山市長が「洞爺湖町との交流を名譽に感じます。北海道洞爺湖サミットの成功を心から祈念します」と挨拶。それに応えて、長崎町長も「永い友好を築いて行きましょう。サミットもぜひ成功させたい」と挨拶しました。

北海道を代表する銘木「いちいの木」によるヒグマの親子の木彫と、三豊市の伝統工芸三豊装飾瓦の恵比寿と大黒天が交換

され、両市町長と議会議長が固い握手を交わし、更なる友好を誓い合いました。



友好を誓いあった交換式

## 洞爺湖芸術館を一般公開します

旧洞爺村役場を改築して出来上がった洞爺湖芸術館が、今年4月から開館します。

同館は、これまで収蔵してきたピエンナーレ作品や砂澤ビック氏の木彫り彫刻、並河萬里氏の洞爺風景写真、近現代文学初版本などの美術品を展示する施設です。

開館に先立って3月25日（火）から3月30日（日）まで無料で一般開放します。開館時間は、午前10時 - 午後3時まで。

詳しい問合せは、洞爺総合支所総務住民課 82- 5111へ。

地域審議会 新町建設計画に関することや地域の課題などについて審議  
行革審議会 集中改革プランの進行管理など、町の行財政改革の推進に必要な審議  
定員 各地域審議会3人以内・行財政改革審議会3人以内  
資格 平成20年4月1日において20歳以上の洞爺湖町にお住まいの方（住民基本台帳に記録されている方）  
任期中、継続して出席できる見込みのある方  
公募委員に選任される日において、町の他の審議会などで委員に選任されていない方  
町の職員を含む行政機

## 募集

## 行財政改革審議会委員 ・ 地域審議会委員

関の職員又は町議会議員でない方  
締切り 3月25日（火）まで  
申込方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、持参または郵送してください。  
任期 2年間  
応募先 行財政改革審議会・地域審議会（虻田地区）は企画防災課（743004）へ/地域審議会（洞爺地区）は総務住民課（825111）へ  
応募用紙は、町のホームページ（<http://www.town.oyako.hokkaido.jp>）からの取り出し又は本庁舎、洞爺総合支所、温泉支所に備え付てあります。